

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2021/12/31	2022/6/30	2022/7/1	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	28,791.71	26,393.04	25,935.62	30,795.78	2021/9/14	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	36,338.30	30,775.43	31,097.26	36,952.65	2022/1/5	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	115.08	135.72	135.21	137.00	2022/6/29	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～米・日経済指標の悪化を受け、景気減速への懸念が強まったことから下落～

先週の日本株市場は、日経平均が▲556.35円(▲2.10%)、TOPIXが▲21.68ポイント(▲1.16%)となり、米・日経済指標の悪化を受け、景気減速への懸念が強まったことから下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、石油・石炭製品、電気・ガス業、パルプ・紙などの13業種が上昇した一方、ゴム製品、空運業、電気機器などの20業種が下落しました。週初27日は、先々週末の米国株市場がミシガン大学消費者信頼感指数における期待インフレ率の下方修正を好感して大幅上昇した流れを引き継ぎ、上昇して始まりました。翌28日も円安ドル高の進行などをサポート材料に続伸しましたが、週中29日は、前日の米国株市場が米消費者信頼感指数の市場予想以上の悪化を受けて大幅下落した流れを引き継ぎ、下落に転じました。その後も、①パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長がインフレ抑制を最重視する姿勢を示したことを受け、積極的な米金融引き締めが世界景気の減速に繋がる懸念が強まったこと、②鉱工業生産や日銀短観における大企業製造業景況感が市場予想以上に悪化したこと、③米PCE(個人消費支出)の伸びが市場予想を下回り、米景気の失速が示されたことなどから軟調に推移して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
7月5日	Tue	米国	製造業受注(前月比)	5月	+0.3%
7月6日	Wed	欧州	ユーロ圏小売売上高(前月比)	5月	▲1.3%
		ドイツ	製造業受注(前月比)	5月	▲2.7%
		米国	ISM非製造業景況指数	6月	55.9
7月7日	Thu	日本	景気一致指数	5月	96.8
			景気先行CI指数	5月	102.9
		ドイツ	鉱工業生産(前月比)	5月	+0.7%
		米国	貿易収支	5月	▲871億ドル
7月8日	Fri	日本	景気ウォッチャー調査現状	6月	54.0
		米国	景気ウォッチャー調査先行き	6月	52.5
		米国	非農業部門雇用者数変化	6月	390千件

決算発表予定 他	国内	決算発表 : 7/6 イオン 7/7 7&IHD 7/8 安川電
	海外	決算発表 : 7/7 サムスン電子

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～米重要指標やFOMC議事要旨への警戒感から、弱含みで推移～

今週の日本株市場は、米重要指標やFOMC議事要旨への警戒感から、弱含みで推移すると予想します。先週末発表された日銀短観における大企業製造業景況感は予想を大きく下回る結果となり、同日の米ISM製造業景況指数も前月から悪化しました。これらは5月までの中国上海市のロックダウンの影響によるものと想定されるものの、内外で企業の景況感悪化が続いており、インフレ高止まりやそれに伴う各国中央銀行の利上げによる世界景気の減速懸念が強まっています。今週は米国において6日にISM非製造業景況指数、8日に非農業部門雇用者数変化と重要指標の発表が予定されており、これらの内容を見極めたいとの思惑から積極的な買いは手控えられるとみています。また、6日には0.75%利上げが実施された6月FOMCの議事要旨も公表されますが、FRBのタカ派スタンスが改めて確認されることも株価の重しに働くとみています。国内株は、コロナ禍からの正常化期待やバリュエーション面で割安感があることが株価の支えに働き、大幅下落は回避されるとみえますが、前者は新規感染者数が増加傾向にあることなどに注意が必要と考えています。その他の注目材料として、日本では8日の景気ウォッチャー調査、米国では5日の製造業受注、7日の貿易収支、欧州では6日のユーロ圏小売売上高、ドイツでは6日の製造業受注、7日の鉱工業生産などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <https://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会